

ほけんだより

いのちの学習 5 年生号

鳥居松小学校

H29.12.19 号

「いのちの誕生 - いのちについて考えよう - 」

5 年生は、野外学習に行く前に、男子は射精、女子は月経について学びました。また、理科では、3 学期に受精から誕生までの過程を学んでいきます。これらの学習に合わせ、「いのち誕生」について学習しました。

子どもたちは、母親の子宮の中で胎児が成長していく様子を知り、命の神秘性や大切さに気付くことができました。授業の感想を一部ですが、紹介します。



命ができるまでにこんなに時間がかかり、やっと生まれてくることを初めて知りました。父さん、母さんに感謝しなきゃいけないなと思いました。(T さん)

お母さんから生まれる 266 日※前(受精卵のとき)は、とても小さかったのに、1 か月 2 か月とおなかの中で成長して生まれてきて、自分が、今こうして生きているのは、とても幸運でうれしいことだなと思いました。(E さん)

これからは、自分だけでなく、人のことやお母さんも、もっと大切にしたいと思いました。(K さん)

ぼくが生まれたことは、本当に幸せだと思いました。(I さん)

命は親にもらった大切なものだと思います。(Y さん)

人の命のでき方なんて知らなかったから、今日学んで、人の命がどういうふうになっているのかよくわかった。(H さん)

今日の授業で、考えることの大切さがわかりました。苦労してうんでくれたお母さんに感謝したいです。(T さん)



自分の命を守ることをちゃんとしないといけない。お母さんががんばって育ててくれた命をむだにして死んでしまうと、周りの人がすごく悲しむので、命はすごく大切なんだと思いました。(H さん)

命はこれだけゆつくり時間をかけて作るとわかり、お母さんにはあらためて「ありがとう」と言わないといけないと思いました。私は、命をこれからも大事にしたいです。そして、私も新しい命を作るんだなと思いました。100 歳を目標としていきたいと思っています。(I さん)

命はとても貴重で大切なんだなとあらためて思いました。なので、自分も命を大切にしたい、後かいない人生にしたいと思いました。あと、これからも命をつなげていきたいと思いました。(H さん)

どんな人にも命はあるんだと思った。人それぞれ、個性をもっている。人間はそういう生き物なんだと思いました。

命をすごく大切にします。(T さん)



命を授かるというのは、とてもありがたいことだと知りました。(M さん)

本当に命はすごいなと思いました。(I さん)

お母さんのおなかの中でこんなことをして生まれたということを初めて知りました。将来赤ちゃんをうむかもしれないから、このことをずっと覚えておきたいです。(Y さん)

お母さんのおなかの中で過ごし、生まれてきて、元気に育ち、勉強できているのは素晴らしいことなんだと、今回あらためて思いました。(Yさん)

ぼくたちは、奇せきてきに生まれてきたんだなと思いました。母には感謝します。生まれてよかったと思いました。(Oさん)

今自分がいることが奇せきのように感じます。なのに、自殺や殺人などをやっている人がいると考えると、とても悲しいです。(Sさん)

今生きているということは本当に奇せきだと思います。このクラスでいられるのも本当にすごいことだと思いました。お父さん、お母さんに感謝して、今日帰ったら、ありがとうと伝えたいです。(Uさん)

私はお母さんのありがたさを知りました。私たちが最初0.14mmしかなかったけれど、今は成長したので、よかったです。(Kさん)

お母さんががんばってうんでくれたので、もっと元気になってお母さんにもっとやさしくしてあげようと思いました。(Oさん)

お母さんがほとんどやってくれていると思っていただけれど、(おなかの中の)赤ちゃんも、思ったより自分で自分のことをしていたので、びっくりしました。(Hさん)

赤ちゃんは自分で精いっぱいできることをして生まれてくるんだと思いました。(Aさん)

命はこんなに長い時間をかけてできるものなんだなと思いました。生まれてきてよかったと思う。(Oさん)

0.06mmの精子と0.14mmの卵子で子どもができるということはすごいと思いました。だから、私はがんばって今を生きたいと思います。(Tさん)

お母さんは赤ちゃんと協力して頑張って私をうんでくれて、きっと大変だったと思います。「私をうんでくれてありがとう！」とお母さんに感謝したいです。(Iさん)

命(赤ちゃん)は、お母さんやお父さんの力が合わさって出てきた(生まれてきた)ので、大切にしたいです。(Yさん)



いのちのはじまり「受精卵」は、0.14mmです。受精して4週間経つと、血液を作り、心臓が動き始めます。その時の胎児(胎芽)の大きさは10mm。小さくても自分で生きようとする力をもっています。そして、38週間を母胎内で母親から栄養と酸素をもらい、すくすくと成長し、約50cm、3000gまで育ち生まれてきます。

今では、3倍近い身長と10倍くらいの体重までに成長しています。その事実、子どもたちは感動し、親への感謝の気持ちを持ち、命の大切さについてしっかりと考えました。

5年生も、あと3か月すると最高学年になります。これからの3か月もさらに成長し、4月からは、下級生に思いやりの心をもって接してくれる立派な6年生として活躍してくれそうです。期待しています。

